KIORITZ

植溝内土壌散布機

取 扱 説 明 書

型 式

TJS300/DP-SG/A

⚠ 警告
ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 取扱説明書の指示内容を守ってください。 守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　　次

目次
安全にご使用いただくために…… 3
1. 付属品の確認 …… 6
2. 警告表示ラベル …… 7
3. 各部の名称 …… 8
4. 各部の名称とその機能 …… 9
5. 作業の準備 ……11
5-1. 試運転 ……11
5-2. 取り付け・調整 ……11
5-3. 運転前点検 ……11
5-4. 薬剤の調合 ……12
5-5. ホースの接続 ……13
5-6. 配線の接続 ……13
5-7. オイルの点検 ……13
6. 噴霧作業 ……14
6-1. 作業の開始 ……14
7. 圧力設定 ……15
8. 輸送・移動 ……17
9. 点検・整備 ……18
10. 長期保管……19
10-1. 水抜き……19
10-2. 不凍液による凍結防止……19
11. 故障対策……20
11-1. 故障診断表……20
11-2. 製品の廃棄……20
12. 仕様……21
13. ホース接続図……22
14. 電気配線図……23
製品取り付け要領……24

安全にご使用いただくために

警告表示について

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、けがを負う恐れのあるものです。

その他の表示について



丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものが全て禁止されていることを表わします。

重要

重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている機械の使用、点検、保守・保管に関する注意事項です。

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警　告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書

○ この取扱説明書には、製品の組立や操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので良く読んで理解してください。
○ この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。
○ 製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。
○ 使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。
○ 損傷により読めなくなったり、紛失した場合には、販売店から購入してください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

○ この製品は薬液散布作業をするためのものです。
○ 本書に記載されている用途以外に使用しないでください。
○ 日本国内でのみ使用してください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

○ 製品を改造しないでください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

○ 定期的な点検・整備をしてください。
○ カバーを外したままで運転しないでください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

○ 製品を貸すとき、借りて作業する人に取扱説明書を読ませ、十分な指示、訓練を行なった後、取扱説明書と製品を貸与してください。
○ 製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。
☆ 事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者

○ 体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。
○ 次のような人は使用しないでください。
- 妊娠している人
- 農薬の影響を受けやすい人
- 16 歳未満の人
- 指導者のいない運転未熟者
- 取扱説明書の内容を理解していない人

☆ 事故や重傷を負う原因となります。

保証書

○ 使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合はメーカー保証の対象外になりますので、ご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。

安全にご使用いただくために

⚠ 警　告

健康管理

○ 休憩をとりながら余裕を持って作業してください。
○ 長時間の作業はさけ、2 時間を限度にしてください。
☆ 健康障害を受ける恐れがあります。
○ 作業中や作業終了後、身体に異常を感じたときは医師の診断を受け、使用した農薬の種類を告げてください。
☆ 処置が遅れることにより、健康障害につながることがあります。

保護具の着用

○ 農薬散布時は、適切な衣類と正しい保護具を身に付けてください。農薬に直接触れないでください。
☆ 農薬に触れたり吸引すると、薬害事故を引き起こす原因となります。
○ 首にタオルを巻いたり、腰てぬぐいをしないでください。
☆ 回転部に巻き込まれて、事故の原因となります。
○ 作業中に着た服は、他の衣類と別に洗ってください。
☆ 薬害の原因となります。



製品の使用環境・作業環境

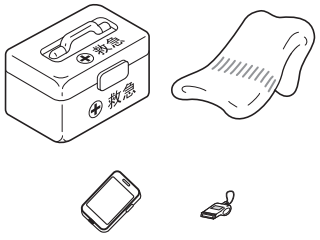
○ 下記のような場合は製品を使用しないでください。
- 降雨時や落雷の恐れがあるとき
- 急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所
- 夜間や視界が悪い場所

☆ 転倒や滑落、誤った操作などにより、重傷を負う原因となります。

事故やけがへの備え

○ 事故やけがに備え、下記の用具を用意してください。
- 救急箱（応急手当用）
- タオルや、てぬぐい（止血用）
- 呼子や携帯電話（外部との連絡用）

☆ 応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。



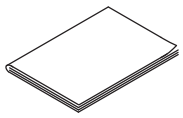
発火・発煙・火災への備え

○ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
○ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂などをかけるか、消火器で消化してください。
※ あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

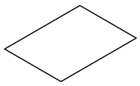
1. 付属品の確認

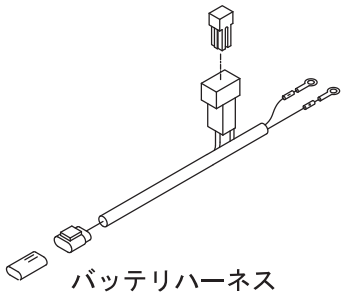
○ 欠品や破損がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

取扱説明書

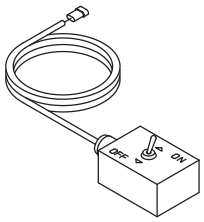


保証書

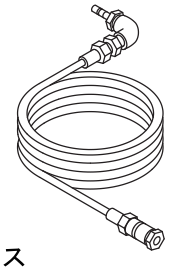




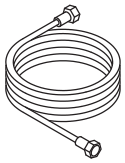
バッテリハーネス
（ヒューズ40A付）



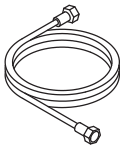
コントローラ



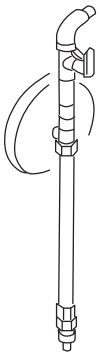
ホース
φ8.5×6 m(黄色)：1本



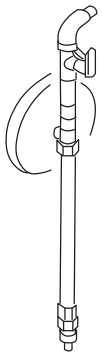
ホース
φ5×2.5 m(青色)：2本



ホース
φ5×1.5 m(青色)：6本



散布管ノズル付
(前方赤色)×4



散布管ノズル付
(後方灰色)×4

ボルト×8



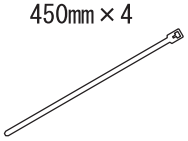
ワッシャ×8



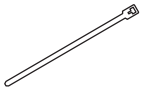
スプリングワッシャ×8



結束バンド
450㎜×4



結束バンド
380㎜×30

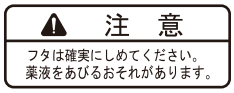


2. 警告表示ラベル

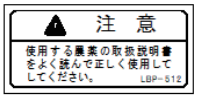
○ 本書で説明している製品の警告表示ラベルを示しています。ご使用前にラベルの意味を理解してください。
○ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態を維持してください。



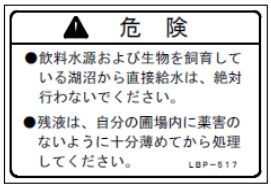
部品番号：X505-006600



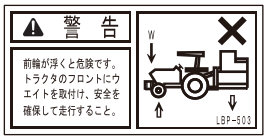
部品番号：X505-006610



部品番号：X505-006630



部品番号：X505-006530



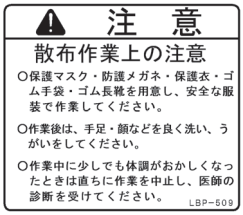
部品番号：X505-006540



部品番号：X505-006550



部品番号：X505-006580

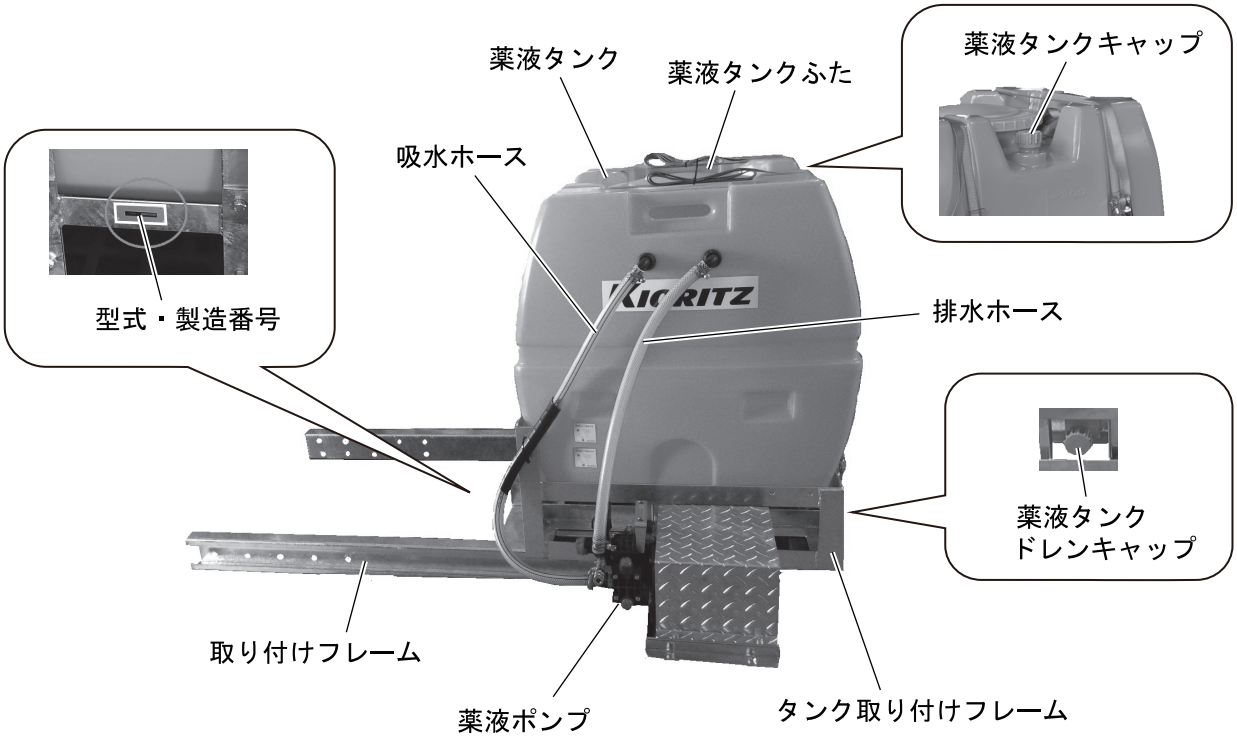


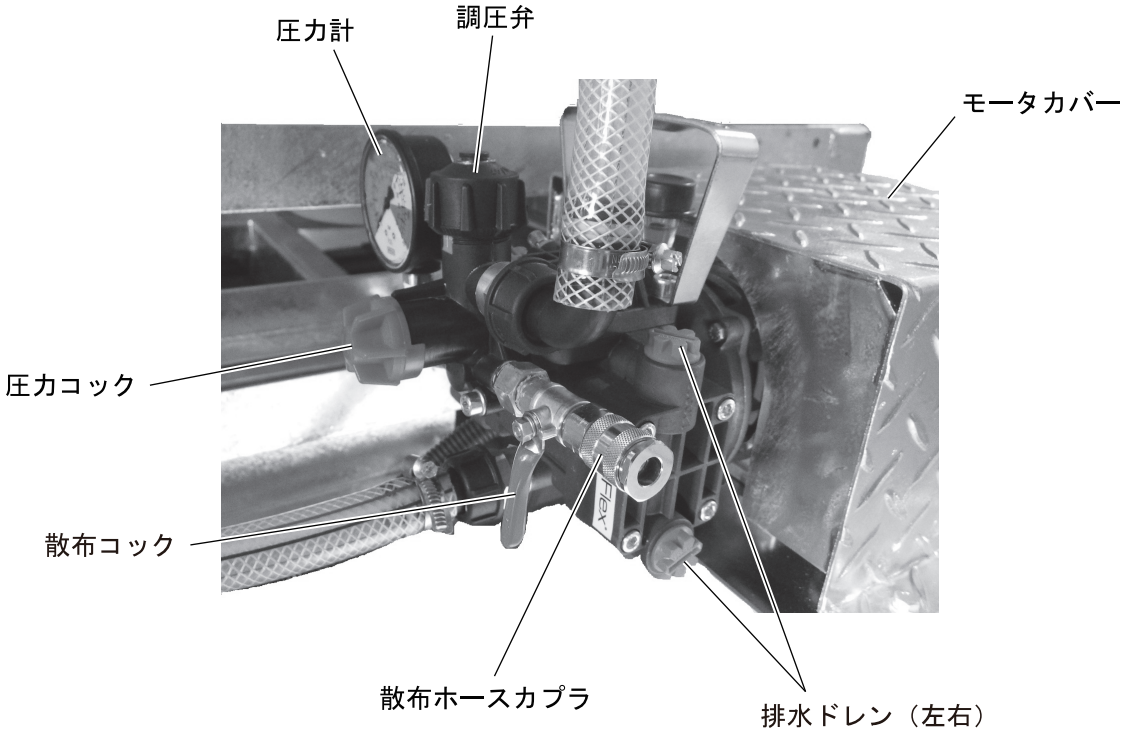
部品番号：X505-006590



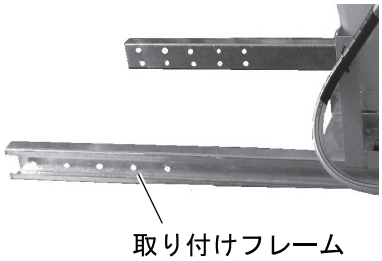
3. 各部の名称

○ 本書で説明している製品の名称を示しています。ご使用前に各部の名称を理解してください。

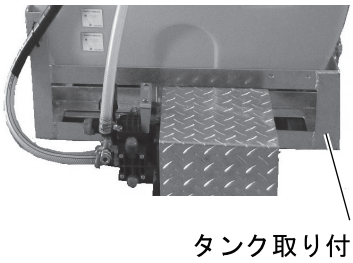




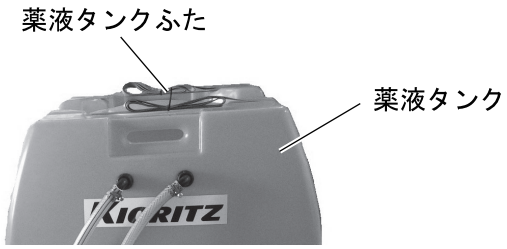
4. 各部の名称とその機能



取り付けフレーム
トラクタ前方取り付け用



タンク取り付けフレーム
タンク搭載用フレーム

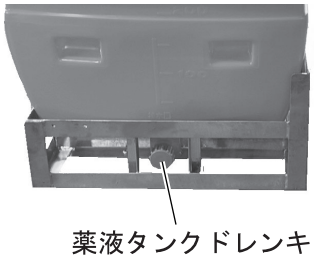


薬液タンクふた
薬液投入箇所（内部洗浄、ストレーナ清掃）

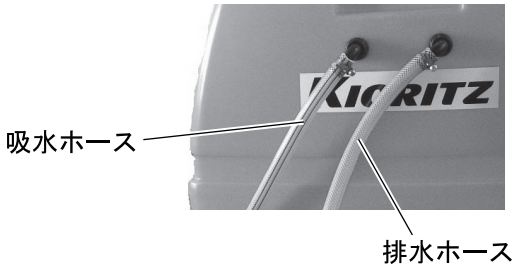
薬液タンク
300 L タンク（吸水ストレーナ付き）



薬液タンクキャップ
キャップにアエブリーザ用の穴付き
薬液タンク内圧を大気圧に保持

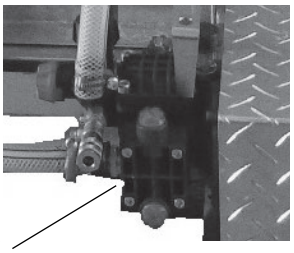


薬液タンクドレンキャップ
薬液タンク内の薬液を排出

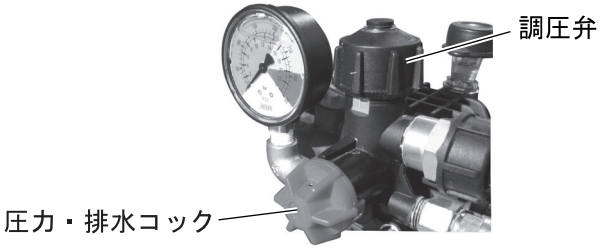


吸水ホース
排水ホース
タンクからポンプまでの接続ホース

4. 各部の名称とその機能

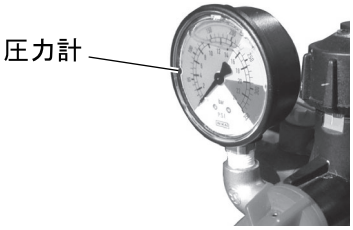


薬液ポンプ
バッテリ 12 V 仕様

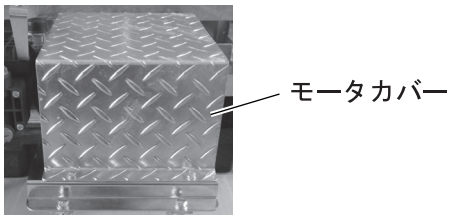


調圧弁
ポンプ圧力調整

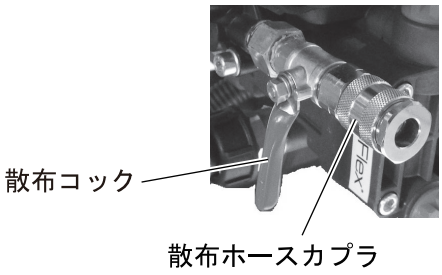
圧力・排水コック
ポンプ圧力・排水切り替えコック



圧力計
ポンプ圧力計

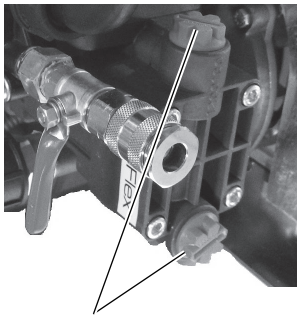


モータカバー
ポンプ駆動モータ用カバー



散布ホースカプラ
散布ノズルへの取り出し口
ホース（黄色）φ 8.5 × 6 m 接続口

散布コック
散布ホース開閉



排水ドレン（左右）
凍結防止等に使用する排水口

5. 作業の準備

5-1. 試運転

・作業前に実施してください。
・水平な場所（水源場所）で行ってください。

5-2. 取り付け・調整

⚠ 危険

○ トラクタ・植え付け機への取り付けは、販売店で実施してください。

⚠ 警告

○ 取り付け工事・運転は、水平で安定した場所で行ってください。

⚠ 注意

○ ポンプユニットの周囲には、通風を妨げるような障害物や可燃物を置かないでください。
コードの発熱により火災の恐れがあります。
○ 所定の吐出圧力以下（0.8 MPa 以下）で使用してください。
けが、装置破損の恐れがあります。

5-3. 運転前点検

⚠ 注意

○ 損傷した散布機を使用しないでください。
けがや火災の恐れがあります。
○ 傷や被覆がむけていたり、古くなったコードは新品と交換してください。
○ 電源はバッテリーターミナルにしっかりと接続してください。
○ たこ足配線はしないでください。
コードの発熱により火災の恐れがあります。
○ 銘板を外さないでください。

5. 作業の準備

5-4. 薬剤の調合

⚠ 警告

○ 飲料水源、河川、湖沼から直接給水することは避け、専用の給水栓や薬液補給用水槽から給水してください。
○ 農薬は残らないように調整し、必ず使い切ってください。
○ 予備攪拌は、十分にしてください。
散布ノズルの目詰まりや、異常な振動、薬害などの原因となります。
○ 外部への漏れがないか点検をしてください。
薬害を引き起こす原因となります。
○ 薬害や環境汚染を起こさないよう十分配慮してください。

⚠ 注意

農薬を使用するときは、次のことを守ってください。
○ 法令を遵守して農薬を使用する
○ 農薬ラベルをよく読み、記載されている事項を確認してから農薬を使用する
○ 製品ならびに農薬の知識を持たない人は、農薬を使用しない
○ 農業用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用して、農薬に直接触れない
○ 農薬が目に入らないように注意する
○ 農薬の種類によっては、かぶれを生ずるときがあるので注意する
○ かぶれやすい人は、使用を控える
○ 農薬が目に入ったときは、すぐに水洗し、眼科医の手当てを受ける
○ 誤って飲み込んだときは、吐き出し、すぐに医師の手当てを受ける
○ 体に異常を感じたときは、すぐに医師の診察を受け、使用していた農薬の種類を告げる
○ 防除対象作物以外への飛散がないよう環境へ配慮する
○ 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいと洗眼をする
○ 子供の手が届かない場所に保管する
薬害の恐れがあります。

重要

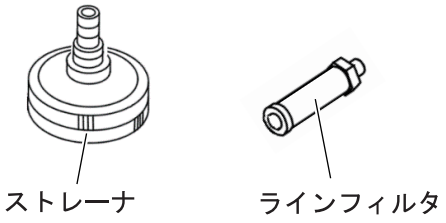
○ タンクこし器は、必ず使用してください。
散布終了後は、吸い込みストレーナと一緒に清掃してください。
○ 粉剤などを溶かす場合は、別の容器であらかじめ水溶させた後に、薬液タンクに入れてください。
○ 薬剤は濃度が均一になるように溶かしてください。
固まりが残ると、ノズルの目詰まりの原因になります。
○ 薬液タンクに 300 L 以上の薬液を入れないでください。
過負荷による本機破損の恐れがあります。

5. 作業の準備

5-5. ホースの接続

ホースの接続は、22 ページ「ホース接続図」を参照してください。

各部の点検
- ホース、その他の部品がきちんと取り付けられているか確認してください。
- ホースが絡まったり、ねじれたりしないように気をつけてください。
- 各部ネジに緩みがないか点検してください。
  ネジが緩んでいると事故につながります。
- 各部からの水漏れおよび配管に緩みがないか点検してください。
  配管が緩んでいると事故につながります。



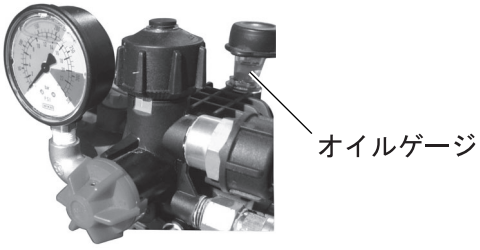
1. タンクからポンプまでの吸水ホース、排水ホースが締まっているか確認してください。
2. タンク内のストレーナに詰まりが無いか確認してください。
3. ポンプからノズルまでの散布ホースが締まっているか確認してください。
4. 散布ホースのラインフィルタに詰まりが無いか確認してください。

重要
フィルタの損傷、詰まりがあると水の供給量が減ります。

5-6. 配線の接続

1. バッテリハーネスとコントローラを接続してください。(23 ページ「電気配線図」参照)

5-7. オイルの点検



1. 薬液ポンプのオイルゲージ内にオイルがあることを確認してください。
   規定量より少ないときは、補充してください。
   オイルの種類：モータオイル SC 級 SAE ＃ 30
   (目安 74 cc)

6. 噴霧作業

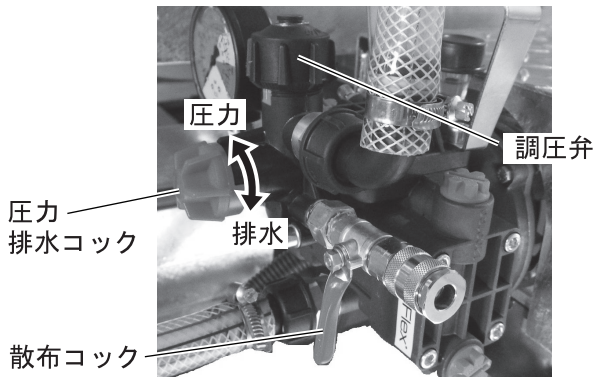
⚠ 警告

○ 電源はバッテリです。正しく接続してください。
　感電、火災の原因となります。
○ 運転中は、内部の配線や電気部品に触れないでください。
　感電の原因となります。
○ 濡れたままの手で電源コード、プラグを触れないでください。
　感電、けが、火災の原因となります。
○ 特定薬剤を使用してください。
　特定薬剤以外を使用すると、ポンプが故障し漏電や感電などの原因となります。

⚠ 注意

○ 運転中、散布機は高温になります。手や身体を触れないでください。
　やけどの恐れがあります。
○ 異常が発生した場合は、直ちに運転を停止してください。
○ 過多な運転・停止の繰り返しをしないでください。
○ 製品の電源コードや電源の接続部および製品へは、直接噴霧しないでください。

6-1. 作業の開始



1. タンクに清水を入れてください。
2. 散布コックを閉じてください。
3. 圧力・排水コックを排水側にしてください。
4. ポンプ電源を ON にしてください。
5. 圧力・排水コックを圧力側にしてください。
6. 調圧弁で圧力を設定してください。
　（設定圧：0.8 MPa 以下）

重要

○ 給水用のホースと固定用のホースバンドは、本機には付属していません。
○ 給水用のホースは、耐圧 0.5 MPa 以上のホースを使用してください。
　耐圧が低いとホースが裂ける恐れがあります。
○ 給水用のホースは、なるべく短いものを使用してください。
　ホースの長さが長いと圧力損失により、洗浄性能が低下する恐れがあります。
○ 給水ホースの接続は、バンド等でしっかり固定してください。
　水漏れの原因となります。
○ 水道は一般水道水を使用してください。
　工業用水を使用した場合、異物が混入して本機に不具合が生じる恐れがあります。
　また水圧が不適正であった場合、本機に不具合が生じたり、洗浄性能が低下する恐れがあります。
○ 調圧弁での圧力調整は、0.8 Mpa 以下で設定してください。
　ヒューズ切れやポンプモータ故障の原因となります。

7. 圧力設定

●ノズルには、次の種類があります。

ノズル性能表（ノズル 1 個あたりの吐出量）

ノズル名称	取り付け位置	ノズル区分	ノズル圧力 MPa(kgf/cm2)			散布角度
TX-VK6	前方	標準	0.25	0.30	0.34	40 ～ 55
TX-VK8	後方	標準	0.37	0.45	0.50	40 ～ 55

●ノズルの総吐出量は、次の式で計算します。

$$\text{ノズル総吐出量（L/min）} = \frac{\text{散布速度（km/h）} \times \text{散布幅（m）} \times \text{散布量（L/10a）} \times \text{ほ場係数（0.8 ～ 1）}}{60}$$

薬剤散布計画 例

散布量 20 L/10a …… 薬剤散布計画などからの 10a 当たり散布量

散布幅 2.25 m …… 植栽距離 75 cm の 4 畦仕様時の散布幅

(2 畦の場合は 1/2 となります) 散布速度 4 km/h … 機種型式・対象作物によって変わります

ほ場係数 1 …… ほ場条件により選定

0.8 ～ 0.9：軟弱地、傾斜地の多い圃場

0.9 ～ 1 ：乾燥した平地、直線走行の長い圃場

10 a 当り散布量は、次の式で計算します。

$$\text{10 a 当り散布量（L/10a）} = \frac{\text{ノズル総吐出量（L/min）} \times 60}{\text{散布幅（m）} \times \text{散布速度（km/h）} \times \text{係数（0.8 ～ 1）}}$$

●ノズル総吐出量の計算例

$$\text{ノズル総吐出量（L/min）} = \frac{4.0\text{（km/h）} \times 2.25\text{ m} \times 20\text{（L/10a）} \times 1}{60} = 3\text{ L/min}$$

1 畦当たりの吐出量 = 3 L/min ÷ 4 畦 = 0.75 L/min

ノズル組み合わせ表	個 数	吐出量（L/min）
前方　TX-VK6	0.165 × 4	2.46
後方　TX-VK8	0.84 × 4	3.36
合計	8	5.82

7. 圧力設定

●ノズルの組合わせ

散布速度別 ノズル設定早見表

条件

・10 a 当たりの散布量 20 L

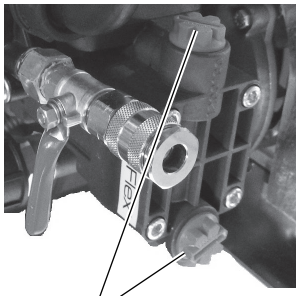
・散布幅 75 cm × 4 畦仕様 = 散布幅 2.25 m

・圃場係数 1

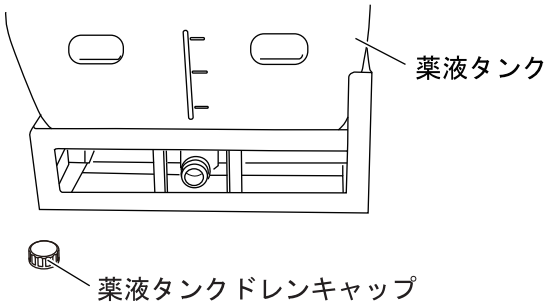
※ 作業速度別の早見表は、目安です。ノズルは、TX-VK 仕様が標準です。

NO.	1	2	3
車速 (km/h)	3.5	4.0	4.5
圧力 MPa (kgf/cm2)	0.4	0.6	0.8
前方ノズル	TX-VK6	TX-VK6	TX-VK6
後方ノズル	TX-VK8	TX-VK8	TX-VK8

8. 輸送・移動



排水ドレン（左右）



輸送・移動時の注意

・凍結防止のため、水抜きをしてください。
（19 ページ「水抜き」参照）
・薬液タンクの薬液タンクドレンキャップを取り外し、タンク内をからにしてください。
・落下、転倒など製品に衝撃を与えないよう注意してください。

9. 点検・整備

⚠ 警告

○ 点検・整備は、電源を切り製品を停止させ、元電源を切ってください。
○ 十分な広さがあり、安定した場所で点検・整備をしてください。

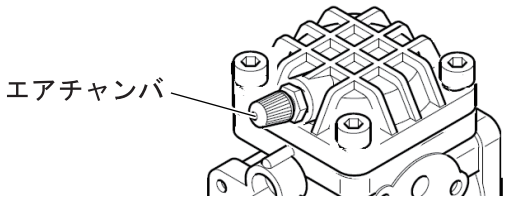
重要

○ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
○ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、販売店にご相談ください。
○ 販売店にご相談するときは、製品の状況と合わせて「型式名」・「製造番号」をお知らせください。
○ 補用品や消耗品は、必ず純正部品または指定品を使用してください。
他社部品あるいは指定品以外の部品を使用すると、故障の原因となる場合があります。
○ 薬液ポンプのオイル交換は、指定オイルを使用してください。
指定以外のオイルを使用すると故障の原因となります。
○ オイルを交換するときは、廃油を容器で受け、こぼれた場合は拭き取ってください。
○ 交換後のオイルをごみの中や地面、排水溝などには捨てないで、購入した販売店に相談して処理してください。

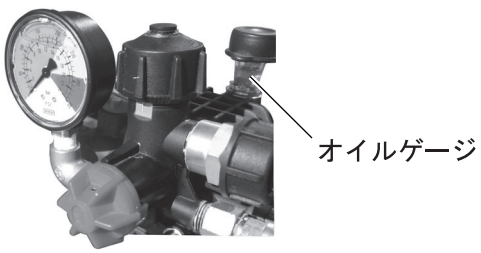
⚠ 注意

○ 軍手などの保護具を着用してください。
○ 電源コードを取り外してください。
○ ポンプ本体は高温になるので触れないでください。
火傷の恐れがあります。
○ 火気厳禁です。

ノズルの確認
ノズルやパッキンは消耗品です。定期的に交換してください。
水漏れや圧力不足の原因となります。



薬液ポンプの確認
使用前にオイルの量を確認してください。
100 時間毎にエアチャンバの圧力を確認してください。(0.1 ～ 0.3 MPa)



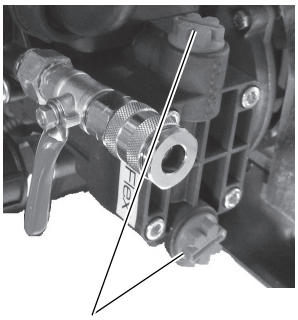
薬液ポンプのオイル交換
薬液ポンプを取り外してオイルゲージ部より抜き取ってください。(年 1 回または 200 時間)
オイルの種類：モータオイル SC 級 SAE ＃ 30(目安 74 cc)

10. 長期保管

10-1. 水抜き

重要
○ 寒冷時に保管するときは、凍結による破損を防ぐため、水抜きを完全にしてください。 ○ 凍結による破損は、保証の対象外となります。

本機を1ヶ月以上使用しないときは、次の手順で水抜きをして、保管してください。



排水ドレン（左右）

1. 散布ホース、吸水ホースを取り外します。
2. 電源を入れて10秒ほど空運転をします。（コックを開く）
3. 電源を停止し、排水ドレン（左右）4カ所を緩めて排水します。

保管場所

・暗所、環境温度1℃以上で埃が被らないように保管します。

長期保管後の試運転

・長期保管後は、試運転を実施してください。
・水平な場所（水源場所）で行ってください。

10-2. 不凍液による凍結防止

⚠ 警告
○ 凍結防止に使用した不凍液は、不凍液の説明書を参照して回収してください。 環境汚染の原因となります。

重要
○ 使用方法を誤ると凍結によって思わぬトラブルが発生することがあります。 ○ 凍結による破損は、保証の対象外となります。 ○ 不凍液を入れるまえに配管内の水抜きをしてください。 残液が残った状態で不凍液を投入すると、不凍液が薄まり十分な効果が得られない場合があります。 ○ 不凍液の濃度は、不凍液の説明書に従い予想される最低気温より低い温度で設定してください。

寒冷時に保管するときは、凍結による破損を防ぐため、各部の水を完全に抜いてください。
不凍液は、やまびこ指定の不凍液「アンチフリーズ」を推奨いたします。

11. 故障対策

重要
○ 補用品や消耗品は、必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

11-1. 故障診断表

不調の状況		原因	処置
水を吸わない 吸い込みにくい (タンク～ポンプ)		1. フィルタにごみ付着	1. ごみを取り除き、清水にて洗浄する
		2. 吸水ホースが破損または折れ曲っている	2. 破損していたら新品と交換 折れ曲りの場合は、伸ばす
		3. 吸水ホースの締め付け不良	3. 十分に締めなおす
		4. 吸水パッキンの異常	4. 新品と交換
圧力が上がらない	ポンプ	1. 弁の固着 2. 弁に砂、ごみ付着 3. 弁の摩耗 4. パッキンの摩耗、損傷	1. 洗浄する 2. 清水にて洗浄する 3. 新品と交換 4. 新品と交換
	タンク～ポンプ	薬水不足	補給する
	圧力計	圧力計の不良	新品と交換
	ホース	吐出ホースの破損	新品と交換
噴霧すると圧力が下がる	ノズル	1. ノズルの摩耗 2. ノズルの噴射量が多い	1. 新品と交換 2. 適正ノズルに交換
	ポンプ	吸水量が少ない	販売店へ
	ホース	吐出ホースの接続部からの水漏れ	販売店へ
圧力が変動		空気の吸い込み 吸水・加圧系統の不良	販売店へ
異常音		1. ベアリングの破損 2. 各部のネジのゆるみ	1. 新品と交換 2. 増し締めする
ポンプからの水漏れ		パッキンの摩耗	新品と交換
モータが回らない		1. 配線の接続不良・断線	1. 接続部を確認する
		2. 圧力の上げすぎ	2. 適正圧力にする
		3. 延長コードがモータ容量に適していない	3. モータ容量に適した延長コードを使用する
		4. モータが破損	4. 新品と交換
		5. たこ足配線により電圧が低下	5. たこ足配線をしない
		6. ヒューズが切れている	6. ヒューズを交換
ダイヤフラムが短時間で破損		1. 吸い込み液中に異物が混入	1. 異物を取り除く
		2. 薬剤不良（指定以外の薬剤）	2. 指定の薬剤を使用する

＊ 表中に記載されていない故障など、ご不明な点はお買い求めの販売店にご相談ください。

11-2. 製品の廃棄

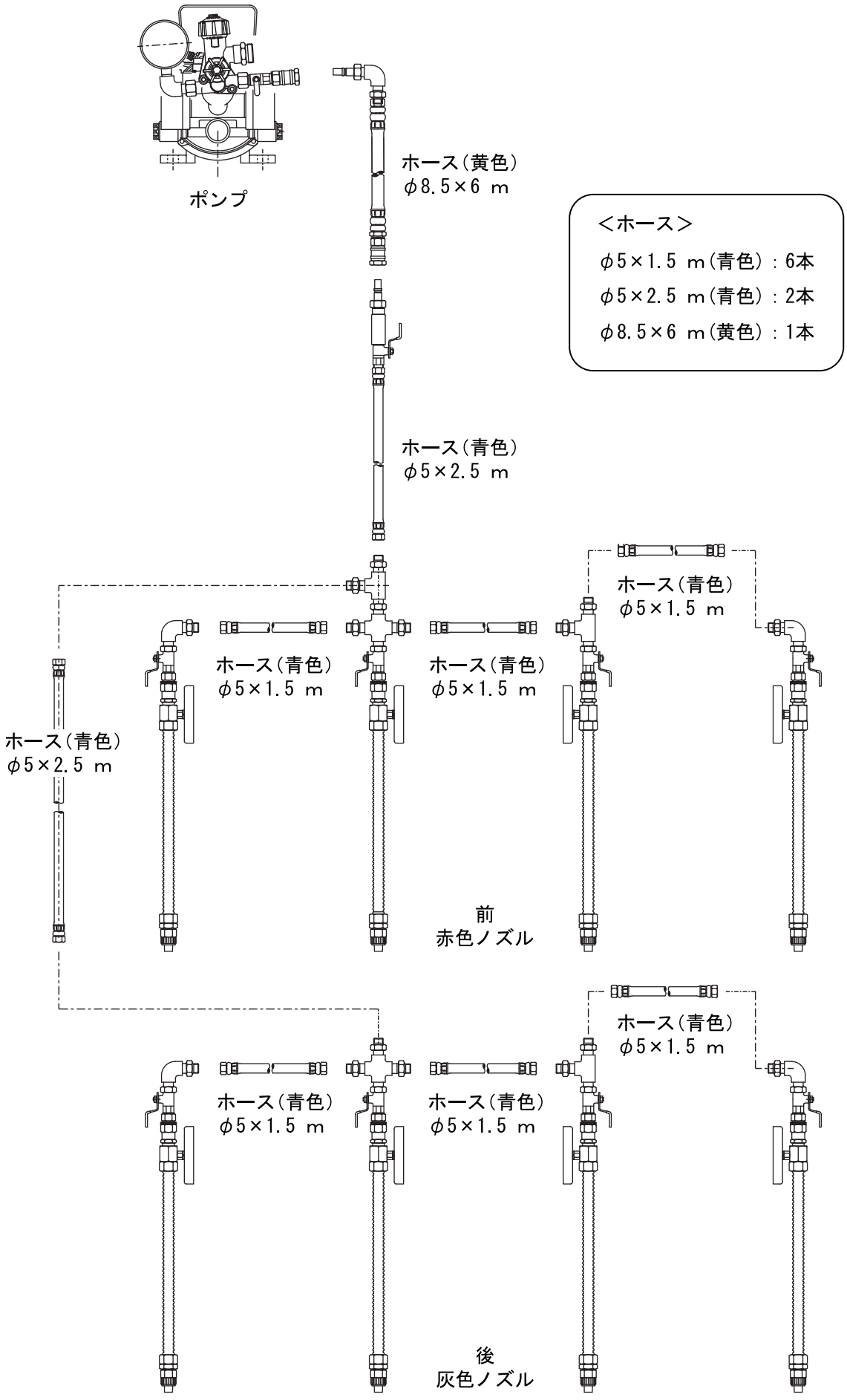
製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

12. 仕様

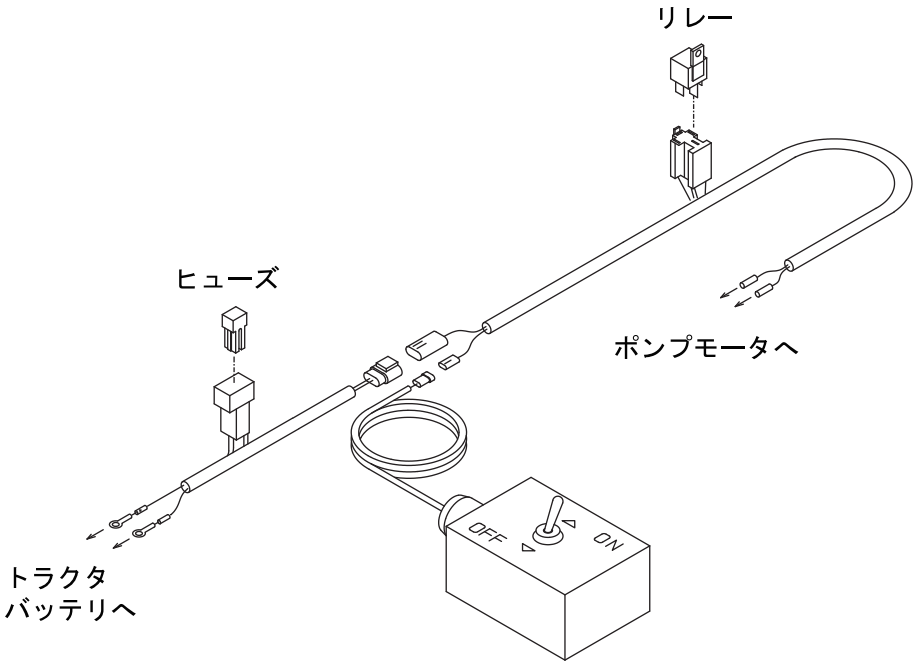
型式名			TJS300/DP-SG/A
区分	項目	単位	
寸法	長さ×幅×高さ	mm	1720 × 1240 × 970
	乾燥質量（フレーム・ポンプ配管・ホース・ノズル）	kg	101
ポンプ	型式	ー	AR DUE
	仕様	ー	ダイヤフラム式
	オイル種類	ー	SAE10W-30
	オイル量	kg	0.074
	最大吐出量	L/min	13
	最大圧力	MPa	1.0
	モータ定格電圧	V	DC12
	モータ最大消費電流	A	40
薬液タンク	容量	L	300
	材質	ー	ポリエチレン
ノズル	前：種類／個数	ー	TXVK-6/4 個
	後：種類／個数	ー	TXVK-8/4 個
その他	リモートコントローラ	ー	モータ ON-OFF 用
	リレー定格電圧、制御容量	V,A	DC12,70
	ヒューズ容量	A	スローブローヒューズ 40

＊この仕様は予告なしに変更することがあります。

13. ホース接続図


ポンプ
ホース(黄色)
φ8.5×6 m
＜ホース＞
φ5×1.5 m(青色) : 6本
φ5×2.5 m(青色) : 2本
φ8.5×6 m(黄色) : 1本
ホース(青色)
φ5×2.5 m
ホース(青色)
φ5×1.5 m
ホース(青色)
φ5×1.5 m
ホース(青色)
φ5×1.5 m
ホース(青色)
φ5×2.5 m
前
赤色ノズル
ホース(青色)
φ5×1.5 m
ホース(青色)
φ5×1.5 m
ホース(青色)
φ5×1.5 m
後
灰色ノズル

14. 電気配線図



製品取り付け要領《参考》

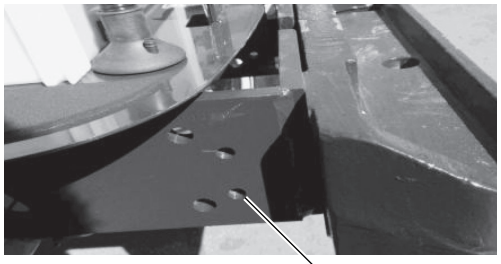
⚠ 危険
○ トラクタ・植え付け機への取り付けは、販売店で実施してください。

⚠ 警告
○ 取り付け工事・運転は、水平で安定した場所で行ってください。

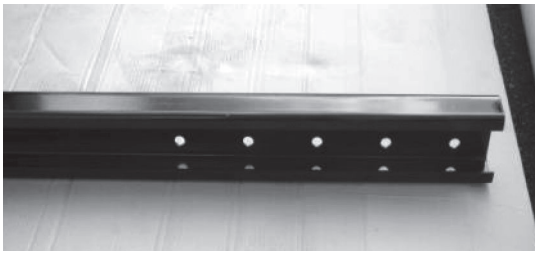
1. 取り付け前の準備
   - 梱包・・・・・・・・・ダンボール内の製品を取り出してください。
   - 付属品の確認・・・・・6 ページを参照してください。
   - 薬液タンク・・・・・・バンド・ホースを外して、フレームから外してください。
   - フレーム・・・・・・・タンク搭載フレームとトラクタフレームを分離してください。
     ※その際、ポンプ取り付け台も外しますので、ポンプも分離することになります。

2. トラクタ搭載方法
   - 搭載するトラクタにより、フレーム取り付けとの連結フレームを製作する必要があります。
     費用については、お客様の負担となります。

【参考】



トラクタフレーム穴を利用して、製品のフレームと連結するフレームを製作してください。



製品の穴を利用して、連結するフレームを製作してください。
取り付け高さ・位置については、販売店に相談の上で製作することをお勧めします。

製品取り付け要領《参考》

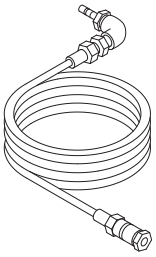
取り付け事例



製品取り付け要領《参考》

⚠ 警告
○ 電源のたこ足配線はしないでください。 ○ バッテリハーネスを延長する場合は、線径（配線コードの太さ 5.5sq ＝ 5.5 スケア）に注意してください。 火災の原因になります。

配線・配管の取り付け



ホース（黄色）
φ8.5×6 m

1. 電源をトラクタのバッテリに接続してください。プラス・マイナスの逆接に注意してください。（プラス側より接続）
2. トラクタのバッテリにバッテリハーネスを取り付けてください。

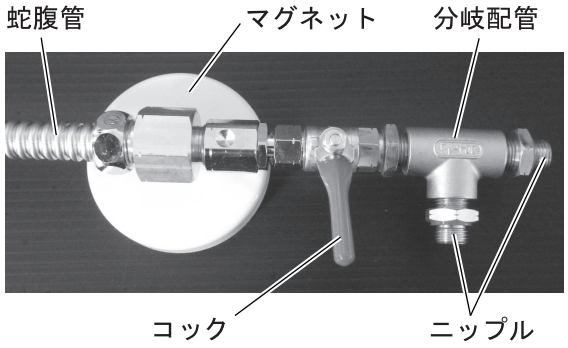
重要
トラクタフレーム・トラクタカバー類と接触しないよう、バッテリハーネスを必ず保護してください。

3. 電源スイッチは、運転席に取り付けてください。
4. 配管を取り付けてください。
5. トラクタ後部まで、トラクタフレームを使い取り付けてください。
6. ホース（黄色）φ 8.5 × 6 m を薬液ポンプに接続してください。

散布管の取り付け

搭載するプランターは、色々なタイプがあります。参考としてください。

散布管は、ノズル、蛇腹管、マグネット、コック、分岐配管、ニップルで構成されています。



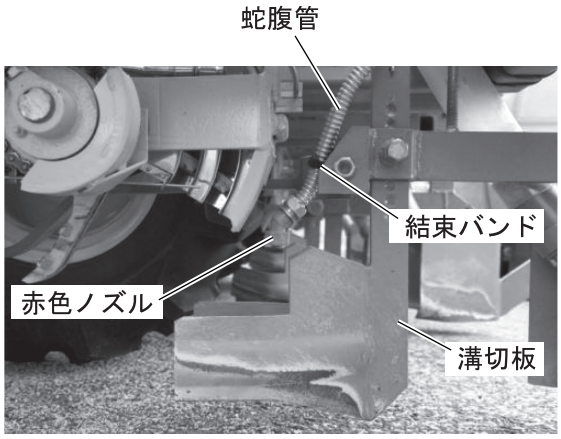
蛇腹管の先端には、ノズルが取り付けられています。

赤色：前ノズル

灰色：後ノズル

製品取り付け要領《参考》

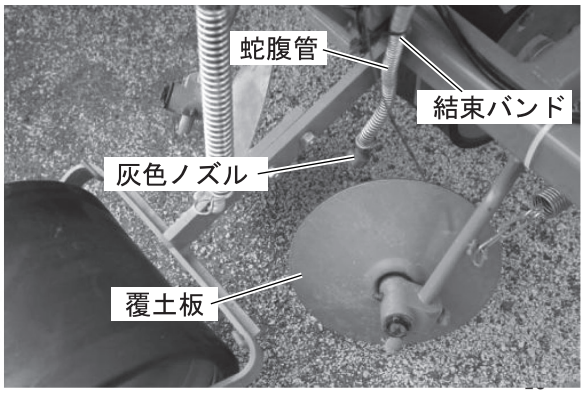
植溝内へのノズル取り付け



前植溝内への取り付け

1. 溝内の中心に取り付けてください。
2. 蛇腹管を結束バンドで固定してください。

※前側は、赤色ノズルを使用します。
※薬液が溝切板、ジャガ芋に掛からないように注意してください。



後植溝内への取り付け

1. 覆土板の中心に取り付けてください。
2. 覆土全体に薬液が掛かるようにしてください。
3. 蛇腹管を結束バンドで固定してください。

※後側は、灰色ノズルを使用します。
※薬液が覆土板、ジャガ芋に掛からないように注意してください。

マグネットの取り付け

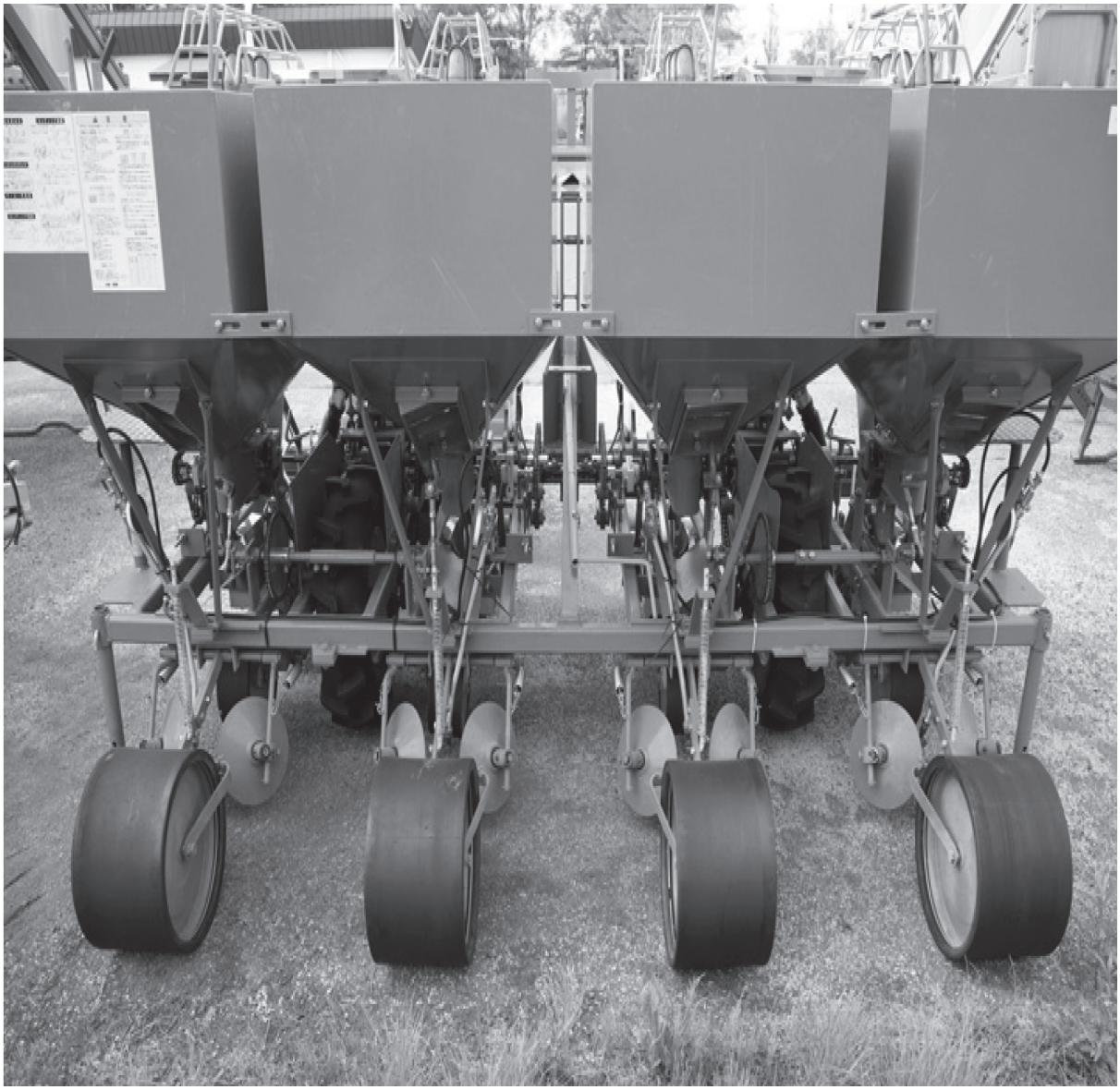


1. 仮り付けをしていたマグネットを結束バンドを使用して固定してください。
2. ホースを接続します。
   （22 ページ「ホース接続図」参照）
3. 試運転の実施をしてください。

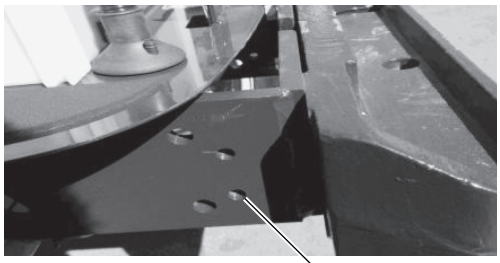
※水漏れがないことを確認し、配管を結束バンドで固定します。

製品取り付け要領《参考》

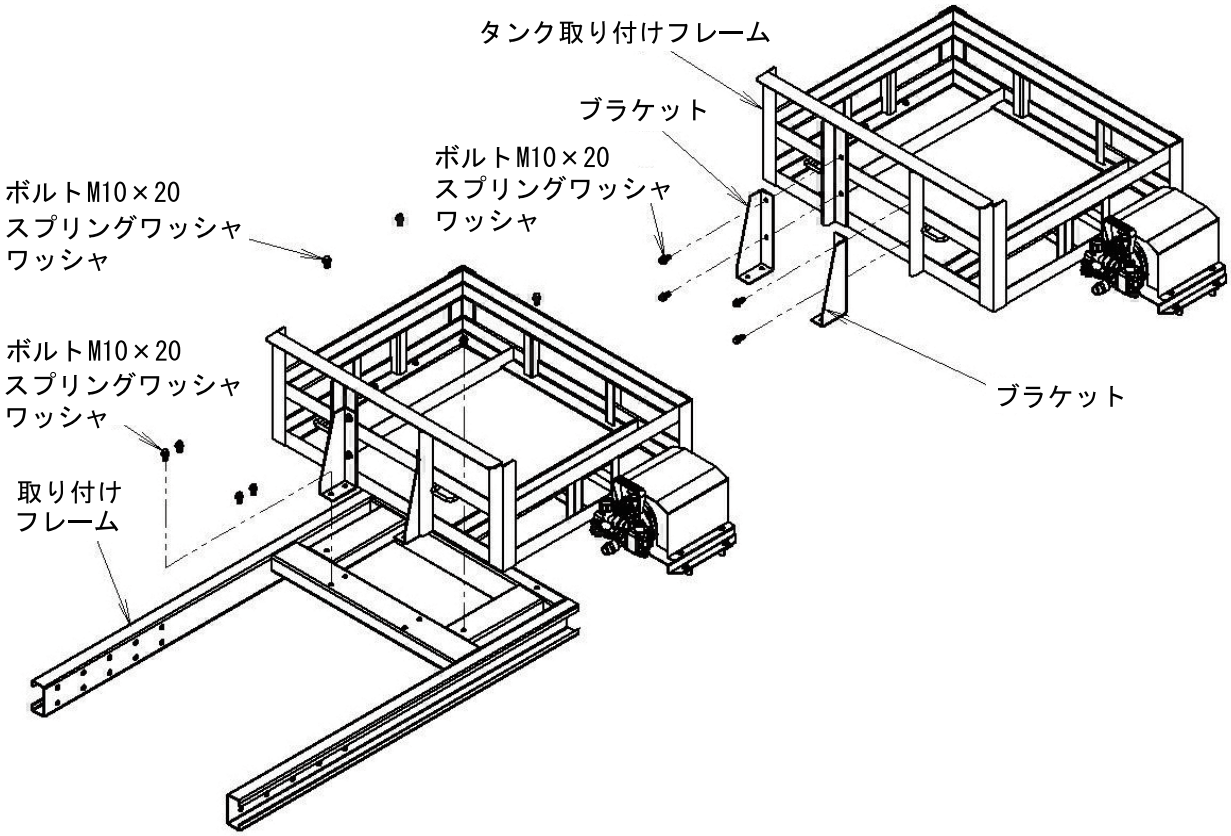
取り付け全体図



製品取り付け要領《参考》



1）取り付けフレームをトラクタに取り付けます。
取り付けには、各トラクタに合わせた連結フレームを製作する必要があります。

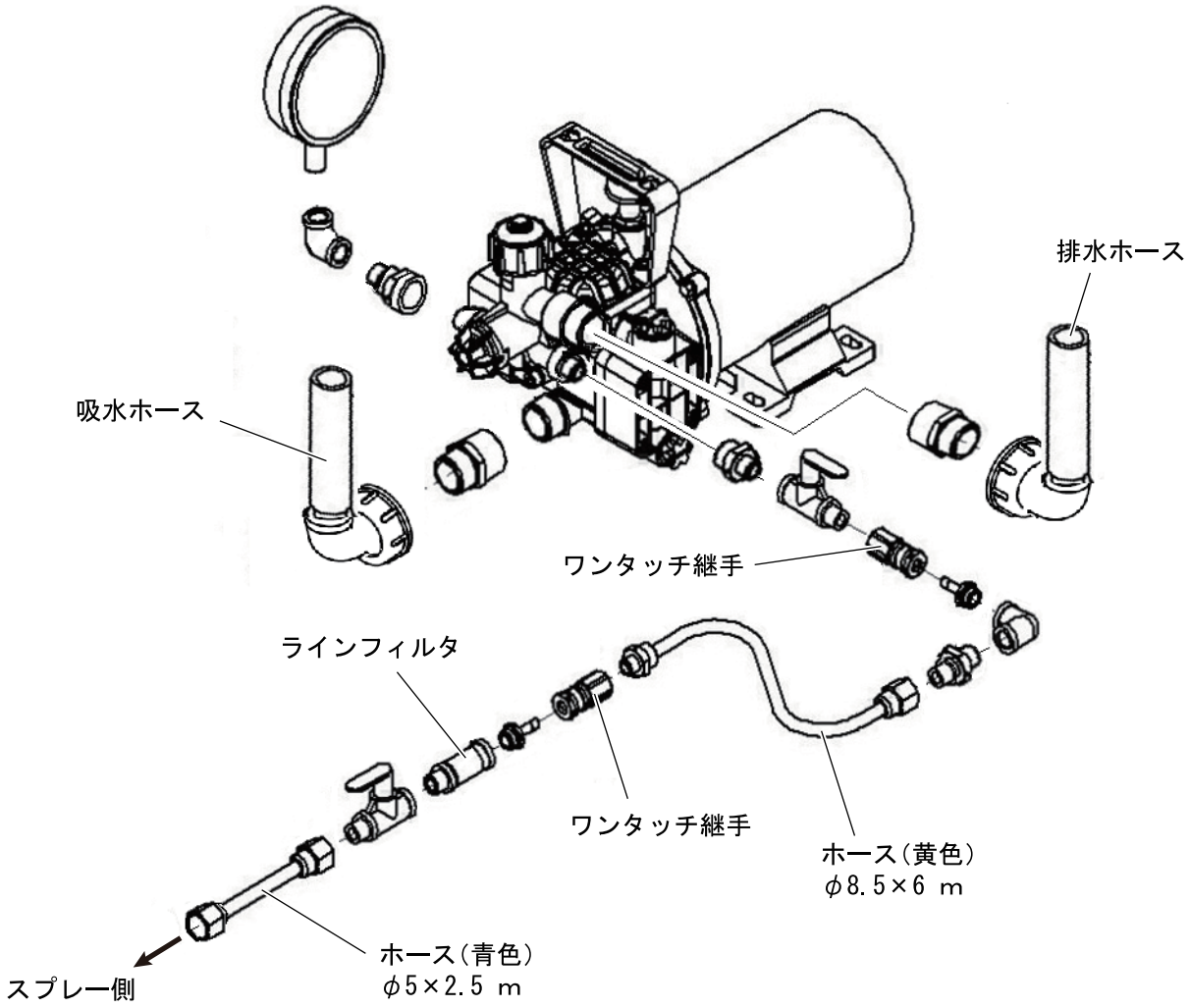


2）タンク取り付けフレームへブラケットを取り付けます。(同梱のM10x20ボルト､スプリングワッシャ、ワッシャ：各4使用)

3）タンク取り付けフレームとブラケットのセットを取り付け、フレームへ固定します。
（同梱のM10x20ボルト、スプリングワッシャ、ワッシャ：各8使用）

4）薬液タンクをタンク取り付けフレームに載せ、同梱の荷締めベルト2本で固定します。

製品取り付け要領《参考》



5) 薬液タンクに吸水ホース、排水ホースを取り付け確認します。
6) 薬液ポンプに吸水ホース、排水ホースを取り付け確認します。
7) 吸水ホースは、ポンプ下部の吸水口へ取り付け確認します。
8) 排水ホースは、ポンプ左側の排水口へ取り付け確認します。
9) 吐出ホースをポンプへ取り付け確認します。
10) ホースφ 8.5 × 6 m(黄色) をワンタッチ継手へ接続します。
11) スプレー側 (トラクタ後部側) へラインフィルタがくるように取り付けます。
12) 電装部配線とスプレー部の配管は
22 ページ「ホース接続図」
23 ページ「電気配線図」を参照してください。

メモ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X753-008821
X753601-0501

© 2022 著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。